

千両千両！井月さんまつり・第34回信州伊那井月俳句大会 を開催します。

「千両千両！井月さんまつり」と「信州伊那井月俳句大会」が一つになり、
様々な催しを行います。井月俳句大会では、事前に応募のあった作品の表彰

【第34回信州伊那井月俳句大会】

開催日：令和7年9月13日（土）

メイン会場：伊那市生涯学習センター ニシザワいなっせホール（いなっせ6階）

内 容：午前10時00分～ ①創造館探検（会場：創造館）

②映画鑑賞「上伊那の祭りと行事」

午後0時20分～ 当日句受付（午後1時00分締切）

午後1時00分～ 開会式

午後1時10分～ 特別選者による俳句談義

特別選者：井上弘美氏（汀主宰）、

木暮陶句郎氏（ひろそ火主宰）

午後2時30分～ 事前句表彰・講評

午後3時00分～ 当日句表彰・講評

午後4時30分～ 演奏会「風羅念仏と民謡の夕べ」

演奏者：高橋竹山氏（津軽三味線）

小田朋美氏（ピアノ）

午後17時40分～ 閉会式

午後18時00分～ 懇親会

添付資料 ☒ 有 ☐ 無

本件に関するお問い合わせ先

9.13[±]
10:00-

会場：ニシザワいなっせホール 6階

13:00-

- ・ 講演
- ・ 俳句談義
- ・ 事前募集句の各賞受賞発表と表彰
- ・ 当日募集句高得点句の発表と表彰

16:30-

18:00-20:00

9.14日

8:30-15:30

集合:いなっせ1F 解散:いなっせ
乗車場所:伊那バスターミナル

TIME

☎0265-74-1789

●井月は、幕末の越後（現在の新潟県長岡市）に生まれ、1887年に没するまでの約30年間を信州の伊那谷を放浪しながら多くの名句を詠んだ漂泊の俳人です。

●井月は無一物で欲がなく、俳諧一筋に生き、句を頼まれればその場で応じたといわれています。そんな井月の生き方や書の巧さは、現在でも多くの俳人らが注目しているとともに、井月同様に各地を放浪した種田山頭火が井月に傾倒し井月の墓を訪れています。芥川龍之介が井月の書を「入神」と讀えた逸話があるからです。

●井月の命曰「井月忌」が春の季語になりました。2022年2月刊行の「新版角川俳句大歳時記」に掲載されています。

東京事務所／東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナ3F Tel: 03-3352-2291 俳句問い合わせ先／大野田井蛙 Tel: 090-9386-7143

2025.9.13[±] - 14日

後援：長野県俳人協会/角川「俳句」/信濃毎日新聞社/中日新聞社/長野日報社/
伊那市有線放送農業協同組合/信州・市民新聞グループ/みずさ俳句会/
伊那食品工業株式会社/株式会社FRACORA



第34回信州伊那井月俳句大会

事前投句募集期間
5.10土曜
7.15火曜

応募用紙
は裏面

紙用募心
便裏以

